

# 大会宣言

私たちは本日、第44回定期大会を開催し、各職場・地域でのたたかいをみんなの確信とし、働く者の生活と権利を守るたたかいに引き続き奮闘する決意を固めました。

安倍政権は、「戦争する国」をめざし、憲法改悪へと突き進んでいます。ウソとゴマカシを繰り返し、立憲主義・民主主義をふみにじり、悪法強行を重ねています。

一方、安倍政権の暴走を許さない声と運動は、「戦争させない・9条壊すな！全国総がり行動」や「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」をはじめ、かつてない共同の輪を広げています。

朝鮮半島では、歴史的な米朝首脳会談が実現し、対話と外交による平和的解決のプロセスも始まりました。今こそ、力と抑止、軍事力増強路線から決別するときです。

こうした情勢のもと開かれた本大会の討論では、9条をはじめ憲法を守りいかす取り組み、大幅賃金引き上げ・働くルール確立、社会保障改悪反対、安倍「教育再生」反対、原発ゼロ・上関原発建設阻止、米軍岩国基地強化反対、萩むつみへのイージス・アショア配備阻止、労働相談活動の充実、日常的な組合運動強化と加入の呼びかけなど、豊かな取り組みの成果と教訓が、安倍政権打倒も視野に、生き生きと語られました。

これらの議論をふまえ、山口県労連として、憲法改悪阻止をはじめとする国民的課題での連帯のたたかいや、沖縄県知事選挙をはじめ、来る統一地方選挙、参議院選挙勝利に向けて、国民共同のたたかいをすすめていくことも確認しました。政治を転換することで、私たちの切実な要求実現をめざしましょう。

山口県労連は、結成以来、「すべての働く者の人間らしい労働と生活の実現」を追求したたたかいを続けてきました。要求実現の最大の保障は組織拡大強化です。すべての単産・単組、地域で、積極的な目標を設定し、要求実現のたたかいと組織強化拡大の取り組みを一体的にすすめ、早期に1万5千人県労連を建設しましょう。

すべての労働者を視野に、組織と要求を前進させ、「人間らしく働き、人間らしく生きることができる社会」の実現をめざしましょう。

以上宣言します。

2018年9月22日

山口県労働組合総連合 第44回定期大会